



# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 丸大食品株式会社  
 コード番号 2288 URL <http://www.marudai.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 百済 徳男  
 (氏名) 加藤 伸佳

TEL 072-661-2518

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	105,128	2.0	1,140	△38.4	1,324	△29.0	586	△36.1
25年3月期第2四半期	103,080	2.5	1,853	△44.1	1,866	△44.8	918	△66.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,551百万円 (119.1%) 25年3月期第2四半期 708百万円 (△72.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	4.52	—
25年3月期第2四半期	7.07	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	124,546	70,604	55.4	530.97
25年3月期	122,848	70,112	55.8	527.71

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 68,974百万円 25年3月期 68,551百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	8.00	8.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	217,000	4.8	3,000	△9.5	3,300	△8.5	1,500	△26.1	11.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	132,527,909 株	25年3月期	132,527,909 株
26年3月期2Q	2,625,942 株	25年3月期	2,623,779 株
26年3月期2Q	129,903,396 株	25年3月期2Q	129,906,453 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとした各種政策の効果などを背景に一部の輸出関連企業を中心に業績回復の兆しが見られたほか、消費者マインドの改善による雇用・所得環境の持ち直しなど、緩やかな景気回復基調が見られましたが、個人消費への影響は未だ限定的であり、依然として厳しい環境が続いております。

加工食品事業につきましては、為替変動等に伴い原材料価格が高騰するなかで、競合他社との販売競争が激化するなど極めて厳しい状況が続いております。食肉事業につきましては、国産牛肉・輸入牛肉の相場が堅調な推移をしました。また、今夏の猛暑などの影響から国産豚肉・鶏肉の供給量が減少したことにより仕入価格が上昇するなど依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、お客様に信頼される「より安全で安心」な食品の提供に努め、「お客様第一」「コンプライアンスの徹底」「安全性と品質の追求」を基本方針とし、「多角化戦略の推進」「グループ経営の強化」「商品開発力の強化」などの諸施策を軸に企業活動を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比2.0%増の1,051億28百万円、営業利益は同38.4%減の11億40百万円、経常利益は同29.0%減の13億24百万円、四半期純利益は同36.1%減の5億86百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

## 【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益又は損失(△)		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	75,120	74,071	△ 1,049 (△1.4%)	1,802	1,230	△ 571 (△31.7%)
食肉事業	27,762	30,888	3,125 (11.3%)	△ 47	△ 187	△ 140 (-)
その他	197	169	△ 27 (△14.2%)	97	97	△ 0 (△0.5%)
合計	103,080	105,128	2,048 (2.0%)	1,853	1,140	△ 712 (△38.4%)

## 【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	43,452	43,501	49 (0.1%)
調理・加工食品	31,668	30,569	△ 1,099 (△3.5%)

## ① 加工食品事業

ハム・ソーセージ部門は、2013年モンドセレクション食品部門において5度目の最高金賞を受賞した主力ブランド「燻製屋熟成あらびきウインナー」などの主力商品を中心に、2014年ソチオリンピック日本代表選手を応援する「がんばれ！ニッポン！スマイルキャンペーン」などの販売促進や、人気キャラクターを商品化した「アイカツ！フィッシュソーセージ」などの新商品投入を積極的に展開いたしました。中元ギフトにつきましては、主力商品である「王覇」「煌彩」シリーズを中心に売上拡大に取り組みました結果、当部門の売上高は前年同期比0.1%の増収となりました。

調理・加工食品部門は、新たに投入した「ごま豆乳スンドゥブ」など豊富なラインナップを取り揃えた韓国家庭料理チゲの素「スンドゥブ」シリーズや、ご好評を頂いております「ドリアソース」シリーズなどの売上が堅調に推移したほか、国産鶏肉を使用し独自の特許製法で仕上げた「鶏肉の蒲焼き」や、厚揚げの新しい食べ方を提案する「厚揚げDELI」シリーズなどの新商品を投入いたしました。また、デザート的主力商品であります「SWEET CAFE」シリーズなど積極的に売上拡大に取り組みましたが、コンビニエンスストア向けの商品が低調に推移しましたことなどから、当部門の売上高は前年同期比3.5%の減収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比1.4%減の740億71百万円となりました。また、営業利益は原材料費の高騰や競争激化による販売価格の低下などにより、前年同期比31.7%減の12億30百万円となりました。

## ② 食肉事業

お客様の低価格志向が継続し依然として厳しい価格競争の環境下にあります。牛肉につきましては、米国産牛肉並びに国産牛肉の販売拡大に積極的に取り組みました。豚肉につきましても、輸入豚肉を中心とした売上拡大に取り組みました結果、売上高は堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比11.3%増の308億88百万円となりましたが、仕入価格の上昇並びに価格競争の激化などから、1億87百万円の営業損失となりました。

## ③ その他事業

その他事業の売上高は前年同期比14.2%減の1億69百万円、営業利益は前年同期比0.5%減の97百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(連結財政状態)

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結会計期間末	増減
総資産	122,848	124,546	1,698
負債	52,736	53,942	1,205
純資産	70,112	70,604	492
自己資本比率	55.8%	55.4%	△0.4%

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が27億11百万円減少しましたが、商品及び製品が26億93百万円増加したほか、投資有価証券が12億74百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ16億98百万円増加し、1,245億46百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が21億70百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ12億5百万円増加し、539億42百万円となりました。

純資産は、四半期純利益5億86百万円の計上などから、前連結会計年度末に比べ4億92百万円増加し、706億4百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から0.4%低下し、55.4%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,784	5,677	1,892
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,303	△1,962	1,341
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,584	△2,786	△1,201
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,190	11,753	562

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加による減少要因がありましたが、売上債権の減少や仕入債務の増加、税金等調整前四半期純利益の計上などにより、56億77百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質の安定のための固定資産の取得による支出などから、19億62百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の減少や配当金の支払いなどから、27億86百万円減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、117億53百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の連結業績予想につきましては、本日（平成25年11月11日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,064	11,753
受取手形及び売掛金	24,994	22,283
商品及び製品	7,044	9,738
仕掛品	743	915
原材料及び貯蔵品	6,657	6,922
繰延税金資産	1,146	1,165
その他	1,105	1,006
貸倒引当金	△60	△55
流動資産合計	52,695	53,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,133	47,442
減価償却累計額	△31,819	△32,411
建物及び構築物(純額)	15,313	15,031
機械装置及び運搬具	48,307	49,597
減価償却累計額	△36,994	△37,889
機械装置及び運搬具(純額)	11,313	11,708
工具、器具及び備品	4,833	4,901
減価償却累計額	△3,394	△3,438
工具、器具及び備品(純額)	1,438	1,462
土地	18,834	18,777
リース資産	6,668	6,254
減価償却累計額	△3,423	△3,163
リース資産(純額)	3,244	3,090
建設仮勘定	317	254
有形固定資産合計	50,462	50,325
無形固定資産	1,625	1,445
投資その他の資産		
投資有価証券	10,733	12,007
関係会社株式	100	68
長期貸付金	190	179
繰延税金資産	69	73
その他	7,379	7,138
貸倒引当金	△408	△420
投資その他の資産合計	18,064	19,047
固定資産合計	70,152	70,817
資産合計	122,848	124,546



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,907	22,078
短期借入金	7,861	8,202
1年内返済予定の長期借入金	2,499	1,690
リース債務	804	751
未払金	6,111	5,843
未払法人税等	303	561
未払消費税等	226	241
賞与引当金	1,081	1,213
その他	1,806	1,709
流動負債合計	40,602	42,292
固定負債		
長期借入金	6,519	5,742
リース債務	2,555	2,463
繰延税金負債	1,685	2,047
退職給付引当金	852	891
その他	520	505
固定負債合計	12,133	11,649
負債合計	52,736	53,942
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	21,685	21,685
利益剰余金	38,031	37,579
自己株式	△698	△699
株主資本合計	65,735	65,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,940	3,805
繰延ヘッジ損益	0	△9
為替換算調整勘定	△124	△104
その他の包括利益累計額合計	2,816	3,691
少数株主持分	1,560	1,630
純資産合計	70,112	70,604
負債純資産合計	122,848	124,546

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	103,080	105,128
売上原価	77,593	80,745
売上総利益	25,486	24,383
販売費及び一般管理費	23,633	23,242
営業利益	1,853	1,140
営業外収益		
受取利息	14	13
受取配当金	123	144
不動産賃貸料	91	94
その他	183	223
営業外収益合計	412	474
営業外費用		
支払利息	172	138
その他	226	152
営業外費用合計	399	291
経常利益	1,866	1,324
特別利益		
固定資産処分益	39	1
投資有価証券売却益	1	10
特別利益合計	40	12
特別損失		
固定資産処分損	107	48
減損損失	107	132
製品自主回収関連費用	213	—
投資有価証券評価損	535	—
特別損失合計	963	181
税金等調整前四半期純利益	943	1,155
法人税、住民税及び事業税	298	550
法人税等調整額	△390	△71
法人税等合計	△92	479
少数株主損益調整前四半期純利益	1,036	676
少数株主利益	118	89
四半期純利益	918	586

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,036	676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△326	865
繰延ヘッジ損益	△25	△9
為替換算調整勘定	22	8
持分法適用会社に対する持分相当額	1	11
その他の包括利益合計	△328	875
四半期包括利益	708	1,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	589	1,462
少数株主に係る四半期包括利益	118	89

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	943	1,155
減価償却費	2,825	2,711
減損損失	107	132
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	6
退職給付引当金の増減額(△は減少)	85	171
受取利息及び受取配当金	△138	△157
支払利息	172	138
投資有価証券売却損益(△は益)	△1	△10
投資有価証券評価損益(△は益)	535	—
固定資産処分損益(△は益)	67	46
売上債権の増減額(△は増加)	△1,218	2,696
たな卸資産の増減額(△は増加)	△508	△3,147
仕入債務の増減額(△は減少)	1,892	2,172
未払消費税等の増減額(△は減少)	△102	15
その他	△602	△41
小計	4,064	5,891
利息及び配当金の受取額	168	154
利息の支払額	△171	△138
法人税等の支払額	△277	△229
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,784	5,677
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△22	△15
投資有価証券の売却による収入	19	27
固定資産の取得による支出	△3,385	△2,302
固定資産の売却による収入	149	200
その他	△64	127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,303	△1,962
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,460	310
長期借入れによる収入	224	48
長期借入金の返済による支出	△2,547	△1,633
リース債務の返済による支出	△533	△453
配当金の支払額	△1,169	△1,037
その他	△19	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,584	△2,786
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,104	925
現金及び現金同等物の期首残高	12,295	10,827
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,190	11,753

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	75,120	27,762	102,883	197	103,080	—	103,080
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	658	658	△658	—
計	75,120	27,762	102,883	855	103,738	△658	103,080
セグメント利益又は 損失(△)	1,802	△47	1,755	97	1,853	—	1,853

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を  
含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の  
営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の  
計上額は、当第2四半期連結累計期間においては107百万円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	74,071	30,888	104,959	169	105,128	—	105,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	590	590	△590	—
計	74,071	30,888	104,959	759	105,719	△590	105,128
セグメント利益又は 損失(△)	1,230	△187	1,043	97	1,140	—	1,140

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては132百万円であります。